

# 南阿蘇村消防団 集結

## 平成25年 村消防団入退団式

### 並びに放水競技大会

3月24日、村消防団入退団式・放水競技大会が長陽体育館長陽庁舎駐車場で行われました。

入退団式では、退団者35人、新幹部・昇格幹部55人、入団者33人に辞令が手渡され、退団者を代表して衛藤武志団長が、「団員の活動を遠くで見ながら、君たちの頑張りでこの村は救われているんだ」と、いつも感謝していました。大変な消防団活動ですが、村民と財産を守り消防団魂を受け継いでください」と謝辞を述べられました。



謝辞を述べられる衛藤武志団長



カゴに入った球を落とす放水競技



新入団員宣誓をする峰松利彰さん

新入団員宣誓では、第9分団に入団した峰松利彰さん（第九駐在）が、消防団員としての誓いを力強く宣誓されました。



優勝した第14分団

入退団式後に行われた放水競技では、各分団とも空高くつり上げられたカゴを目掛けて勢いよく放水し、玉落としを競い合いました。

優勝 第14分団  
準優勝 機動分団  
3位 第3分団

## 南阿蘇村消防団新幹部の皆さんです (敬称略)



南阿蘇村消防団長  
なか ひろあき  
中尾 博昭 (赤瀬)

### 就任のごあいさつ

自治体消防発足65周年という節目にあたり今年度から団長職に就任しました中尾と申します。

消防団に入団し、30年を迎えようとしています。近年消防団を取り巻く環境も厳しく、生活環境の変化による「団員減少」、昨今の異常気象による「自然災害」等ありますが、特に昨年起こった豪雨災害はこれまで経験したことのない災害でした。村当局も「災害のない村づくり」を進めているところでありますが、村消防も災害に即応、対応できる消防団活動が必要ではないかと思えます。村民の皆さまが安心、安全で暮らせるように目指してまいりますので、今後とも消防団活動に対しご支援とご協力をお願いします。



ふるしょう のりあき  
古庄 憲明  
(下野)



たどころ とよひで  
田所 豊英  
(第二駐在)



まつおか かつや  
松岡 勝也  
(一関一)



いまむら てるひろ  
今村 輝宏  
(川後田)



ふじさわ まさお  
藤澤 正男  
(吉田一)



かい よしろう  
甲斐 義朗  
(第一駐在)

【副団長】

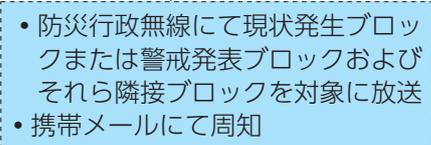
# 日ごろの備え 早めの避難を心がけましょう

〈お問い合わせ〉 役場 総務課 防災消防係 TEL(67)1111

大雨・土砂災害が発生しやすい季節がやってきます。「もしも」に備えて家のまわりの点検や、非常持出品の用意、避難経路の確認をしておくことが大切です。災害の前兆を確認した場合は明るいうちに早めの避難を心がけてください。

〔避難勧告等の基準〕

※避難勧告等の基準は、災害の種類及び地域性等により異なりますが、おおむねの基準は次のとおりです。

発令項目	気象庁発表等	避難等の呼びかけ
注意喚起 (要援護者、一般住民)	大雨注意報	気象予報等や降雨状況で判断します。
避難準備情報 (要援護者の避難開始、一般住民の避難準備)	大雨警報  ・防災行政無線で村内全域に放送	避難行動に時間を要する者(要援護者)が、指定された避難場所に避難する時間を確保できるように、早めのタイミングで避難等の呼びかけをします。
自主避難の呼びかけ (一般住民の避難開始)		
避難勧告    	土砂災害警戒情報  ・防災行政無線にて警戒発表ブロックとその隣接ブロックを対象に放送 ・携帯メールにて周知 ・J-ALERT では村内全域に放送(調整中)	土砂災害は、24時間累加雨量が200mmを超えるような場合や、時間雨量が30mm程度を超える雨が連続する場合、または長期間にわたって雨が降り続き、地盤が緩んでいる場合などに発生する恐れがありますが、地域の地形、地質等の条件により大きく異なるため、それぞれの地域の状況に応じて具体的に定めておく。 また、急傾斜地において次のような兆候が確認された場合には、前記基準にかかわらず速やかに避難の呼びかけをします。 (ア) かけ等で小石がぱらぱら落ちる。 (イ) 地面にひび割れができる。 (ウ) 斜面から濁った水が流れ出る。 (エ) 地鳴りがする。 (オ) その他土砂災害の兆候が確認されたとき。
避難指示  	・土砂災害の前兆現象が認められるとき ・土砂災害が発生したとき  ・防災行政無線にて現状発生ブロックまたは警戒発表ブロックおよびそれら隣接ブロックを対象に放送 ・携帯メールにて周知	暴風、豪雨、洪水、土石流その他災害発生の事象が避難勧告の段階より悪化し、災害の発生が切迫し、かつ、現実視される場合、または突然、災害発生の諸現象が現れたときは、直ちに避難の呼びかけをします。

## 雨の降り方と強さ

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10~20mmの雨	1時間に20~30mmの雨	1時間に30~50mmの雨	1時間に50~80mmの雨	1時間に80mm以上の雨
				
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら、警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。テレビ、ラジオなどで今後の様子を注意し、長引きそうなら避難の心構えを。	バケツをひっくり返したような雨です。かけ崩れ、山崩れも起こりやすく、道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川ははん濫し、水害の可能性が高まります。避難勧告等が出る場合があります。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。